

12章 ヨセフ (ユースフ)

[12:0] 慈愛深き慈悲深い神の御名において

[12:1] A. L. R. これらの(文字)はこの深遠な経典の証明である。*

**12.1 コーランのイニシャルは偉大な奇跡の重要な成分を構成している(付録1)

[12:2] 私たちはあなた方が理解するかもしれないので、アラビア語のコーランを啓示した*

**12.2 なぜコーランはアラビア語で啓示されたのか? 41:44と付録4を参照

[12:3] 私たちはこのコーランの啓示をとうして最も確実な歴史を語る。これ以前、あなた方は全く気づいていなかった。

[12:4] ヨセフがかれの父親に言ったことを思い出さない。「おお、父よ、わたしは11の星、太陽そして月を見ました、わたしはそれらが私の前で伏し拝んでいるのを見ました。」

[12:5] かれは言った、「わたしの息子よ、あなたの夢について、あなたの兄たちに言ってはいけない、さもなければかれらはあなたに対して、陰謀とたくらみをする、悪魔は人間の最悪の敵である。

[12:6] 「あなたの主はこのようにあなたに恩恵を与えた、そしてあなたに良い知らせをあなたの夢をとうして与えてくれた。彼があなたの祖先、アブラハムとアイザックにしたように、彼は彼の恩恵をあなたとヤコブの家族に完全にした。あなたの主は全知であり、最も賢いお方。」

[12:7] ヨセフとかれの兄たちには、追求する者たちへの教訓がある。

[12:8] かれらは言った、「ヨセフとかれの弟は私達の父親に気に入られている、そして我々はその過半数。全くわたしたちの父は、はるかに迷っている。

神によってすでに決められていたヨセフの宿命*

[12:9] 「ヨセフを殺すか、かれを追放しよう、そうすれば、父からいくらか注目される。後で、義になつた人々になることができる。」*

**12:9 わたしたちは、ヨセフの夢からかれが明るい将来の運命であったことを学ぶ。だからかれの兄たちがかれの宿命を決めるために会った時、かれの宿命はすでに神によって決められていたのである。すべては神によってなされ(8:17)、すべてはすでに記録されているのである(57:22)。

[12:10] かれらの一人が言った「ヨセフを殺すな、かれを井戸の深いそこに放り投げよう。おそらく隊商がかれを拾うだろう、もしあなた方がそうすることを決めるなら。」

[12:11] かれらは言った、「わたしたちの父よ、なぜヨセフについてわたしたちを信用しないのですか？ わたしたちはかれをきちんと面倒見ます。」

[12:12] 「わたしたちと一緒に走って遊ぶためにかれを明日送ってください。わたしたちはかれを守ります。」

[12:13] かれは言った、「わたしはあなた方がかれと一緒に行って、あなた方がかれを見ていない間に、狼がかれを食い荒らしてしまうのではと心配だ。」

[12:14] かれらは言った、「こんなに多くわたしたちがいるのに、もし狼がかれを食い荒らすならば、わたしたちは本当に敗者です。」

信者たちは神の確証によって恵まれる

[12:15] かれらがかれと一緒に去った時、かれらは全員一致でかれを井戸に放り投げることを決めた、私たちはかれに神感を与えた、「いつの日か、かれらが全く知らない間、あなたはこれらすべてのことをかれらに言うであろう。」

[12:16] かれらはその夜、かれらの父のところに泣きながら戻ってきた。

[12:17] かれらは言った、「わたしたちの父よ、ヨセフをわたしたちの道具と一緒に残してわたしたちはお互いに競争していました、そして狼が彼を食い荒らしてしまいました。あなたはわたしたちが本当のことを言ってもわたしたちを決して信じないでしょう。」

[12:18] かれらがかれのシャツに偽造の血をつけた。かれは言った、「全く、あなた方はあるたくらみを犯すために、互いに共謀した。わたしができることは静かにじっと待つこと。あなた方の共謀の直面から、**神**が私を助けてくれますように。」

ヨセフエジプトへつれていかれる

[12:19] キャラバンが通りすぎた、そしてすぐに、かれらの水人を送った。かれはかれのバケツを下ろし言った「なんと幸運な！男の子がここにいる！」かれらがかれを品物と一緒に連れて行った、そして**神**はかれらがしたすべてのことを知っていた。

[12:20] かれらがかれを安い値段で売った、数ディルハム、かれらがかれが必要ではなかった。

[12:21] かれをエジプトで買った者はかれの妻に言った、「かれの世話を良くしなさい。もしかしたら、かれはわたしたちの助けをできるかもしれない、それかかれを養子にできるかもしれない。「私たちはヨセフを地上に落ち着かせた、そして私たちはかれに夢の解釈を教えた。**神**の命じはいつも行われる、しかしほとんどの人々は知らない。」

[12:22] かれが大人になった時、私たちは知恵と知識をかれに授けた。私たちはこのように義人を報酬する。

神は信者たちを罪から守る

[12:23] かれが住んでいる家の夫人がかれに誘惑をしてきた。かのじよは扉を閉めて言った、「わたしのすべてはあなたのもの。」かれは言った、「**神**がわたしを守ってくれますように。彼はわたしの主、わたしに良い家をくれたお方。罪人は決して成功しない。」

** 12 : 23 ヨセフがこのような方法で陳述したので、支配主の夫人は彼が彼女の夫について言っていると思った、実際、かれは神について言っていた。

[12:24] かのじよはもう少しでかれに屈服しそうになった、そしてかれはかのじよにもう少しで屈服しそうになった、もしかれがかれの主からの証明を見なかったならば。私たちはこのように悪魔と罪をかれから背けた、なぜならば、かれは私たちの献身的なしもべの一人だった。

[12:25] 2人は扉へと競った、そしてその途中、かのじよはかれの覆いを後ろから破いた。かれらはかのじよの夫を扉のところで見つけた。かのじよは言った、「あなたの妻にみだらなことをした者が罰は、投獄、または痛い処罰をのぞいて何にすべきですか？」

[12:26] かれは言った、「かのじよがわたしを誘惑してきたのです。」かのじよの家からの証人の一人が提案した、「もしかれの覆いが前から破けていたら、かのじよが真実を言っていて、かれは嘘つきである。

[12:27] 「そしてもしかれの覆いが後ろから破けていたら、かのじよが嘘を言っていて、かれが真実を言っている。」

[12:28] かのじよの夫がかれの覆いが後ろから破けているのを見た時、かれは言った「これは女の仕業である。全く、あなたのたくらみは、恐ろしい。

[12:29] 「ヨセフ、この件を無視してくれ。あなた（わたしの妻）に関しては、あなたの罪のために懺悔を求めなさい。あなたは間違いを犯したのだ。」

[12:30] その市のある女性たちが噂をした、「雇い主の妻が、かのじよの使用人を誘惑しようとしている。かのじよはかれに深く恋をしてる。わたしたちはかのじよが邪道に迷ったのがわかる。」

[12:31] かのじよがかれらの噂話を聞いた時、かのじよはかれらを招待し、心地よい場所をかれらのために準備し、かれらそれぞれにナイフをあたえた。それから、かのじよはかれに言った、「かれらの部屋に入りなさい。」かれらがかれを見た時、かれらはかれに非常に見惚れ、かれらはかれらの手を切ってしまった。かれらは言った「**神**を讃えよ、これは高潔な天使。」

** 12 : 31 これは、盗みの手についての5 : 38に使われたのと同じ単語である、そしてその章の番号の合計は（12 + 31と5 + 38）は同じになる。だから、墮落したイスラム教によって実践されるような過酷なものでなく、盗みの手は傷跡をつけるべきなのである。（脚注5 : 38を参照）

[12:32] かのじよは言った「これが、あなた方がわたしが恋に落ちたと攻める唯一の者。わたしはかれを誘惑しようとした、そしてかれは断った。わたしがかれに命令したことをしないのならば、かれは確かに牢屋に行くであろう、そして墮落するであろう。」

[12:33] かれは言った、「わたしの主よ、牢屋のほうがかれらの言いなりになるよりもましです。あなたがかれらのたくらみをわたしからそらさない限り、わたしはかれらを要望し、そして無知な者たちのように振舞ってしまうかもしれない。」

[12:34] かれの主はかれの祈りに答えた、そしてかれらのたくらみをかれからそむけた。彼は聞くお方、彼は全能なお方。

[12:35] その後、かれはそれについて理解し、明らかな証明にもかかわらず、かれらはしばらくの間、かれを牢屋に入れるよう計らった。

[12:36] 2人の若い男達が彼と一緒に牢屋にいた。彼らの一人が言った、「私は（私の夢で）私がワインを造っているのを見た」そしてもう一人が言った、「私は私の頭でかかえているパンを鳥たちが食べているのを見た。これらの夢の訳を私達に知らせてください。私達はあなたが正義な者と理解する。」

[12:37] かれは言った、「もしあなた方にどんな食べ物が与えられても、わたしはあなた方が受け取る前にそれについて知らせることができる。これはわたしの主によって、わたしに授けられた知識のひとつである。わたしは**神**と来世を信じない人々の宗教を見放した、かれらは真の不信者である。

[12:38] 「そしてわたしはその代わりに、わたしの先祖である、アブラハム、イサク、そしてヤコブの宗教に従う。わたしは決して**神**のとなりに偶像を置いたりはしない。それはわたしたちの人々への**神**からの恵みである、しかしほとんどの人たちは感謝をしない。

[12:39] 「おおわたしの牢獄の仲間たちよ、いくつもの神々のほうが良いか、それとも**神**のみ、唯一のお方、最高権威か？

[12:40] 「あなた方は、神の隣にあなたとあなたの両親が作り上げた革新以外崇拜しない。**神**はそのような偶像を決して許可していない。すべての統括は**神**に属する、そして彼はあなた方に彼以外を崇拜してはいけないと命じた。これは完璧な宗教である、しかしほとんどの人々は知らない。

[12:41] 「おお、囚人たちよ、あなた方の一人は彼の君主のワインの執事となるであろう、同時にもう一人は虐待される、鳥たちが彼の頭から食べるであろう。これはあなた方がたずねたことについての解決である。

[12:42] かれは助かるほうの者に言った、「あなたの君主のもとで、わたしを覚えているように。」したがって、悪魔がかれにかれの主を忘れさせた、そしてその結果、かれはそれから数年間、牢獄にとどもまることになった。

** 12 : 42 ヨセフがかれのために王へのとりなしをかれの相棒に懇願した時、かれは牢屋から救われるために神以外の人を頼ることを表した。これは真の信者に敵さない、そしてそのような深刻な踏み外しがヨセフに数年の牢屋を要したのだった。(1 : 5、6 : 17、8 : 17、10 : 107)

王の夢

[12:43] 王は言った「わたしは7匹の太った牛が7匹のやせた牛に食べ荒らされた夢を見た、そして7つの(麦の)緑の穂と、他はしなびていた。おお私の年長者よ、私の夢について助言しなさい、もしあなた方がその夢の解釈の仕方を知っているのならば。」

[12:44] 彼らは言った、「無意味の夢である。夢の解釈については私達は知識がありません。」

[12:45] (牢獄から)救われた者が言った、たった今、かれはついに思い出した、「わたしはあなたにその解釈を言うことができます、だから、わたしを(ヨセフへ)送ってください。」

ヨセフ、王の夢を解釈する

[12:46] ヨセフ、わたしの友よ、七頭の太った牛が七頭のやせた牛たち、食い荒らされたことについて、そして7つの緑の穂とその他がしなびたことについてわたしたちに知らせてくれ。わたしは人々のためになにか情報を持って帰ることを望む。」

[12:47] かれは言った、「あなた方が、次の7年間に栽培するするものは、収穫の時期か来た時、あなた方が食べる以外、それらの穂に穀物を残しておきなさい。」

[12:48] 「その後、7年間の干ばつが来るであろう、その間、あなたがかれらのために貯蔵したほとんどが食べつくされるであろう。」

[12:49] 「その後、人々のために安堵をもって来る年が来るであろう、そして彼らは再び汁を絞るであろう。」

[12:50] 王は言った、「かれをわたしのところに連れてきなさい。」使者が、かれところに来たとき、かれは言った、「あなたの主人のもとに戻りなさい、そして手に傷をつけた女性たちについて捜索するように頼みなさい。わたしの主はかれらのたくらみをすべて気づいておられる。」

[12:51] (王は) (じよせいたち) 言った、「あなた方は、あなた方がヨセフを誘惑した時のことについて何を知っているか？」かれらは言った、「**神**よ、なんてとんでもない、わたしたちはかれによって犯された悪事を何も知らない。「支配人の妻は言った、「たった今、真実が打ち勝った。わたしがかれを誘惑しようとした、そしてかれは真実な者

[12:52] 「わたしはかれのいない間に彼を裏切ることは決してしなかったことにかれが気づいてくれることを望みます、**神**は裏切る者たちのたくらみに恵みを与えない。

[12:53] 「わたしは自分自身の潔白を主張しない。自身は邪悪を主張する、わたしの主からの慈悲を獲得する者たち以外は。」

ヨセフ著名を獲得する

[12:54] 王は言った、「かれをわたしに連れてきなさい、そうすればわたしがかれをわたしのために働くように雇う。かれがかれと話したとき、かれは言った、「今日、あなたはわたしたちのもとの、著名な地位になった。」

[12:55] かれは言った「財務官にしてください、わたしはその分野に知識と経験があります。」

[12:56] このように、私たちはかれが望むように統括するために、ヨセフを地上に定めた。私たちは私たちが意志する誰でもに慈悲を与える、義にかなった者を報うことに決して失敗はしない。

[12:57] それに加えて、来世の報酬は、信じ、義にかなった人生を送る者たちにとってもっと良い。

[12:58] ヨセフの兄たちが来た、かれらが入った時、かれらがかれに気づかない間、かれはかれらに気がついた。

[12:59] かれがかれらに食料を供給した後、かれは言った、「次回は、あなた方と一緒に異母兄弟を連れてきなさい。あなた方はわたしが十分な測定分をあげ、あなた方を寛大にもてなしているのがわからないのか？」

[12:60] 「もしあなた方が、かれをわたしに連れてくることに失敗するならば、あなた方はわたしから、一切の分け前を受け取らないであろう、あなた方は近くに来ることさえもできないであろう。」

[12:61] かれらは言った、「わたしたちはかれの父親とかれについて話し合います。わたしたちは確かに行うでしょう。」

[12:62] かれはかれの助手に指示を出した、「かれらの品物をかれらの袋に戻しなさい。かれらがかれらの家族に戻った時にそれらを見つけたら、かれらはすぐにもっと来て来るかもしれない」

[12:63] かれらがかれらの父親の元へ戻った時、かれらは言った、「わたしたちの父よ、あなたがわたしたちと一緒に、わたしたちの弟を送らなければ、わたしたちはもう何の供給も得ることができません。わたしたちはかれの世話をきちんとします。」

[12:64] かれは言った、わたしはかれと一緒にさせることにあなた方を信用すべきか、わたしがあなた方の弟と一緒にあなた方を信用したように？ **神**が最上の保護者、そして、すべての慈悲深いものの中で、彼が最も慈悲深いお方。」

[12:65] かれらが袋を開けたとき、かれらはかれらの品物が戻されていたのに気づいた。かれらは言った、「わたしたちの父よ、これ以上何を求めることができようか？ ここに、わたしたちの品物は戻されている。わたしたちは、家族のために供給ができ、わたしたちの弟を守り、そして、もう一つラクダの荷の量を受け取ることができる。これは確かに利益ある取引である。」

[12:66] かれは言った「わたしはあなた方が**神**の前で神聖な固い約束をわたしにしてくれなければ、かれをあなた方と一緒に送らないであろう」かれらがかれらの固い約束した時、かれは言った、「**神**はわたしたちが言うことすべてを証人しておられる。」

[12:67] そしてかれは言った、「おお、わたしの息子たちよ、ひとつの扉から入ってはいけない、別々の扉から入りなさい、しかしながら、**神**によってあらかじめ定められたすべてのことからわたしはあなた方を救うことはできない。**神**にはすべての審判が属している。わたしは彼を信頼する、そしてすべての信頼する者たちはかれらの信頼を彼におくべきである。」

ヤコブはヨセフを感じる

[12:68] かれらが（ヨセフへ）行った時、かれらは父親の指示に従って入った。**神**が命じたことすべてを変えることはできないが、ヤコブはこれをするをかれらに頼んだ個人的な理由があった。かれは私たちがかれに教えたある知識を持っていた、しかしほとんどの人々は知らない。

エジプトに戻る

[12:69] かれらがヨセフの所に入った時、かれはかれの弟をかれの近くに連れて来て言った、「わたしはあなたの兄だ、かれららの行動にあわててはいけない。」

ヨセフはかれの弟を確保する

[12:70] かれがかれらに食料を供給した時、かれは飲み物のコップをかれの弟の袋に入れた、そして告知者が告げた、「このキャラバンの持ち主たちは、泥棒である。」

[12:71] かれらは、かれらのところに来ながら言った、「何をなくしたのだ？」

[12:72] かれらは言った、「わたしたちは王のコップを失った。誰でもそれを戻すものは、割り増しのらくだの荷の量を受け取る、わたしがこれについて、個人的に保証する。」

[12:73] かれらは言った、「**神**に誓います、あなた方は良くわかってるはずだ、わたしたちはここに悪事を行いに来たのではない、そしてわたしたちは泥棒ではない。」

[12:74] かれらは言った「泥棒への罰は何ですか、もしあなた方が嘘つきならば？」

[12:75] かれらは言った「その罰は、もしそれがかれの袋で見つかったならば、泥棒はあなた方に属します。わたしたちは有罪者を罰する。」

[12:76] かれは、それから、かれの弟の入れ物に行く前に、かれらの入れ物を検索し始めた、そしてかれはかれの弟の入れ物からそれを取り出した。私たちはヨセフのためにそのたくらみを完璧にした、かれがもし王の法を使ったならば、かれの弟を維持することはできなかった。しかしそれは**神**の意思であった。私たちは私たちが選ぶ誰をも高い地位に上げる。すべての知識ある者の上には、もっと知識がある者がいる。

[12:77] かれらは言った、「もしかれが盗んだのなら、かれの兄弟も過去に同じことをしたはずだ。」ヨセフはかれの気持ちをかれの中に隠し、かれらに全くヒントを与えなかった。かれはかれ自身に言った、「あなたは本当に悪い。**神**はあなたの告発すべて知っておられる。」

[12:78] かれらは言った、「おお、高貴なお方、かれには年老いた父親がいます、わたしたちの一人をかれの変わりにとってくれないでしょうか？ わたしたちはあなたが親切なお方だと理解しています。」

[12:79] かれは言った、「**神**よ、なんてことだ、わたしたちはわたしたちの物を持っていた者だけをとるべきである。そうでないとわたしたちは不公正である。」

[12:80] かれらがかれの考えの変わることにあきらめた時、かれらと一緒に協議をした。かれらの長男が言った、「あなた方は父が**神**の前であなた方から神聖な固い約束を取ったことを気づいているか？ 過去にヨセフをなくした。わたしは父がわたしに許可をくれるまでここを去らない、それか**神**がわたしを裁くまで。彼は最高の審判である。」

[12:81] 「父のもとに戻ってかれに言いなさい、、、」 「わたしの父よ、あなたの息子が盗みを犯しました。わたしたちは確かであることを知っています、なぜならば、わたしたちはそれを証人したからです。これは予期せぬ出来事でした。」

[12:82] わたしたちがどこにいたかは、集団に訊ねられます、そしてわたしたちと一緒に来たキャラバンにも。わたしたちは真実を語っています。」

[12:83] かれは言った、「全く、あなた方はあるたくらみを行うために隠しているのか。静かな忍耐がわたしが唯一できること。**神**よかれらすべてを私に戻してください。は全能なお方、最も賢いお方。」

[12:84] かれはかれらから顔をそむけて言った「わたしはヨセフについて悲しんでいる。」かれの目はあまりにも悲しみすぎて、白く変わってしまった、かれは本当に悲しかった。

[12:85] かれらは言った、「**神**に誓う、あなたは病気なるまで、またはあなたが死ぬまでヨセフについて悲しみ続けるだろう。」

[12:86] かれは言った、「わたしはわたしの窮地と悲しみをただ単に**神**に文句を言っている、しかしわたしは**神**からあなた方が知らないことを知っている。

[12:87] 「わたしの息子たちよ、ヨセフとかれの弟を取り戻しに行きなさい、そして**神**の恩寵を決してあきらめてはいけない。**神**の恩寵をあきらめるものは、不信をする人々以外いない。」

イスラエルエジプトに行く

[12:88] かれらが（ヨセフの）住居に入った時、かれらは言った、「高貴なお方よ、わたしたちはわたしたちの家族と共に多くの苦難に苦しみました、わたしたちは貴重な品物を持ってきました。わたしたちはあなたがたっぷりとはかり、わたしたちに情け深くしてくださることを望みます。**神**は情けある者を報酬する。」

[12:89] 彼は言った、「あなた方は、あなた方が無知な時に、ヨセフと彼の弟にしたことを覚えていますか？」

[12:90] かれらは言った、「あなたはヨセフにちがいない。」かれは言った、「わたしはヨセフです、そしてここにわたしの弟がいます。**神**はわたしたちに恵みを下さった。なぜならば、もしある者が義にかなった人生を送り、断固たる決心で努力するならば、**神**は決して気にならなかった者の報酬に失敗しない。

[12:91] かれらは言った、「**神**に誓う、**神**は本当にあなた方を私達より好んだ。わたしたちは明確に間違っていた。」

[12:92] かれは言った、「今日、あなた方への非難はありません。**神**があなた方を赦しますように。すべての慈悲あるものの中で、彼が最も慈悲あるお方。」

[12:93] わたしの肌着を持っていきなさい、あなた方これをわたしの父の顔に放る時、かれの視力が元に戻るでしょう。あなた方のすべての家族を連れてきなさい、そしてわたしのところに戻ってきなさい。*

** 12 : 93 これがイスラエルの子孫のエジプトでの始まりを記す。モーセが数百年後かれらをエジプトから脱出させた。

[12:94] キャラバンが来るずっと前に、かれらの父親は言った、「わたしはヨセフの匂いを感じる。誰かわたしを教え導いてくれないか？」

[12:95] かれらは言った、「**神**に誓います、あなたはまだ古い混乱にいます。」

[12:96] その良い知らせの使者が到着した時、かれはかれの顔にその肌着をほうった、そうすると、かれの視力がもとに戻った。かれは言った、「わたしはあなた方に言わなかったか、あなた方が知らないことをわたしは**神**から知っているか？」

[12:97] かれらは言った「わたしたちの父よ、わたしたち罪の御赦しのために祈ってください、わたしたちは本当に間違っていました。」

[12:98] かれは言った、「わたしはあなた方の罪の御赦しをわたしの主に懇願する、彼は罪を赦すお方、最も慈悲深いお方。」

エジプト

[12:99] かれらがヨセフの住居に入った時、かれはかれの両親を抱きしめ言った、「エジプトにようこそ、**神**の意思によって、あなた方はここで安全です。」

[12:100] かれはかれの両親を王座へあげた。かれらはかれの前で伏し拝んだ。かれは言った、「おお、わたしの父よ、これがわたしの昔の夢の実現です。わたしの主がそれを現実にしたのです。彼はわたしに恵みをくださった、そして悪魔が、わたしとわたしの兄弟とを分裂させた後、牢屋からわたしを運び、あなた方を砂漠から連れて来た。わたしの主は彼が意思するものには最も親切なお方、彼は知っているお方、最も賢いお方。」

[12:101] 「わたしの主よ、貴方はわたしに王国をくださった、そして夢の解釈を教えてくれた、もろもろの天と地の創始者、貴方はこの世そして来世でわたしの主であり、わたしの雇い主。服従者としてわたしを死なせてください、そしてわたしを義人に加えてください。」

[12:102] これは、私たちがあなた方へ啓示した過去からの知らせである。かれらが一緒にたくらみ、（ヨセフを井戸に放ることを）名なしで決めた時、あなた方はいなかった。

大多数の人々は信じない

[12:103] ほとんどの人々は、あなたが何をしようと信じないでしょう。

[12:104] あなたは彼らにお金を求めているわけでもない、あなたは単にの暗示をすべての人々に運ぶだけである。

[12:105] たくさんの証明がもろもろの天と地にはある、しかしかれらはそれらに注意を払わないで通り過ぎていく！

大多数の信者は地獄を運命づけられている

[12:106] **神**を信じている者たちの大半は偶像崇拜を犯していないわけではない。

[12:107] かれらは**神**からの恐ろしい天罰がかれらに打たれないという保障でもあるのか、また、かれらが一番予期していない時、その時間がかれらに突然やってこないというのか？

[12:108] 言いなさい、「これはわたしの道である、わたしは、明確な証拠をもって**神**へと招待する、そしてわたしについてくる者たちのために。**神**の栄光を讃えよ。わたしは偶像崇拜者ではない。」

[12:109] 私たちは、あなた方の前に、様々な共同体の人々から選び、私たちが靈感を与えた男たち以外は送っていない。かれらは地上をさまよって、かれら以前の者たちの結果を見なかったのか？ 義にかなった人生を送るものたちにとって来世の住居ははるかに良い。それなら理解するのか？

勝利、最終的に、信者に属する

[12:110] 使徒たちがあきらめたその時、そしてかれらが断られたと思った時、私たちの勝利はかれらにやってくる。私たちは私たちが選んだ者誰をも救う、罪ある者たちへの私たちの天罰は、避けられない。

コーランが唯一わたしたちに必要なもの

[12:111] かれらの歴史には、知恵を持つ者たちのための教訓がある。これは偽造されたハディースではない、これは（コーラン）すべての過去の経典を認証し、すべての詳細を提供する、そしてそれは信じる者たちにとって、指針と慈悲である。

この章までの**神**の累積回数＝

1 4 1 6

この章までの**神**がでてくる節の番号の累積合計＝

8 5 6 0 7